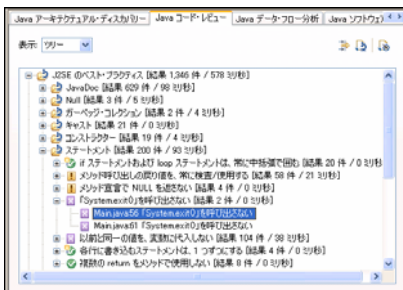




# IBM Rational Software Analyzer

## ハイライト

- 開発サイクルの初期段階からコードレベルの問題を特定し、時間とコストを軽減
- 拡張可能なフレームワークにより、他の解析ツールに対する管理作業を軽減
- Rational Build Forge と統合し、ソフトウェア・コードをスキャンするソリューションを一元管理でき、ビルド・プロセスの一工程としてコードの品質解析を自動化
- 企業の IT ガバナンスおよびコンプライアンス要件を遵守する集中レポート機能によりコンプライアンス管理者を支援
- お使いの Eclipse 環境に簡単に統合でき、時間を節約しすぐに使用開始



[Java コード・レビューの実施結果画面]  
重大度をアイコンで表現し、ルールに  
抵触したソースコードを指摘

## 開発サイクルの初期段階からコードレベルの問題を特定

ソフトウェア開発の世界では、どんなに優秀なエンジニアが開発しても不具合が皆無とはいきません。

すべての会社が同じ課題を抱えているため、開発プロセスの初期段階で不具合を発見できる会社は他社に対して大きな競争力を得ることができます。

可能な限りコンパイルやビルドの前に不具合を発見することが望ましいのは、開発ライフサイクルに大きな影響を与えず問題を解決できるからです。

もし、製品リリース後に問題が発覚すれば、それは悲劇的な結果をまねき、問題解決に多大な費用と時間を要するばかりでなく、新製品開発の着手が遅れたり、お客様からの信用低下を引き起こします。

Rational Software Analyzer は、豊富な解析ルールにより、開発ライフサイクルの初期段階からコードレベルの問題を特定でき、お客様は他社に対する競争力を高めることができます。

Rational Software Analyzer は、Java に関する 550 以上のルール、C/C++に関する 130 以上のルール、Javaに関する40以上のソフトウェア・メトリクス・ルールなど豊富なプログラミング・ルール集を含む開発のベスト・プラクティスを使ってコードをレビューできます。

これにより、スタイルの一貫性が保たれ、エラーの減少とアプリケーションの性能向上が見込まれます。

Rational Software Analyzer を使えば、熟練のプログラマーがすべての開発者のコードをレビューするのと同じ効果を、全く時間をかけずに得ることができます。

クイック・フィックス機能では、ワープロの文法チェックと同様に、ある種の問題に対して問題点を自動修正できます。

Rational Software Analyzer は、ソフトウェア開発を行うすべての会社で価値を発揮できますが、特に、金融、自動車、電気電子、医療機器などソフトウェアの障害対応や再作業に対する費用が高い業界において大きな価値を発揮します。

Rational Software Analyzerは、お客様の組織におけるソフトウェア・ライフサイクル管理で必要とされる様々な要件に対応するために2つのエディションがあります。個々の開発者が使用する Developer Edition、そして Rational Build Forge と統合し集中管理を可能にする Enterprise Edition を提供しています。

## サード・パーティーの解析ツールの容易な管理

もう開発チームは、どの静的解析ツールを、いつ実行すべきか迷う必要はありません。

Rational Software Analyzer を使えば、開発者は一般的なフレームワークから複数のスキャン・ルールやツールを実行できます。使い勝手がよく、レガシーまたはサード・パーティーのテクノロジーを集中管理でき、生産性の向上にも貢献します。

一般的なフレームワークを採用しているのでカスタマイズや一貫性を保持したワークフローの構築を行え、静的解析を容易に実施できます。さらに、全社レベルで幅広く利用でき、拡張可能なソリューションを提供します。

開発者は既存のルールを修正することや、柔軟なルール構成を利用して新しいルールの作成も可能です。

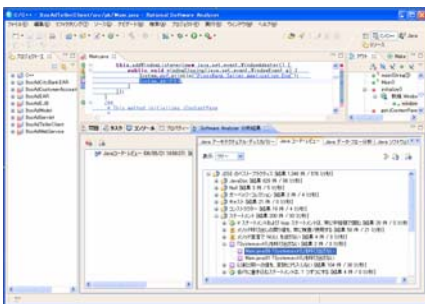
また、全社レベルの開発環境で共同して利用できるよう、お客様の会社に応じたベスト・プラクティスを含んだカスタマイズが行えます。

## コード品質の自動解析

コードのスキャン作業を自動化したい組織では、Rational Software Analyzer Enterprise Edition を Rational Build Forge と統合し、ソフトウェア・コードのスキャン・ソリューションを一元管理することができます。ビルド・プロセスの一工程にコードの品質解析作業を組み込み、自動化することが可能です。

コードのスキャンを自動化することにより静的解析の実施を強制でき、コードをより手厚く保護できます。これにより、静的解析を実施していないコードがソフトウェア構成管理リポジトリにチェックインされるリスクを排除できます。

個々の開発者に自らのコードを定期的に解析させることができない開発環境では、Rational Software Analyzer Enterprise Edition を使用して Rational Build Forge からリモート・スキャンを実行することが可能です。Rational Software Analyzer の利点を活用すれば、実質的には、Rational Software Analyzer Developer Edition を個々の開発者のローカル環境にインストールする必要がありません。



Eclipse にプラグインされた Rational Software Analyzer の画面イメージ

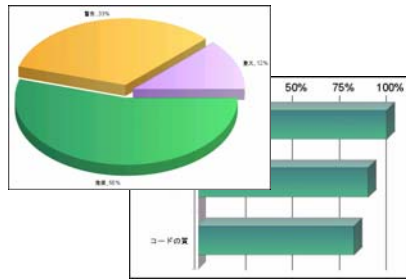
## 見える化、ガバナンス、コンプライアンス管理の推進

全社レベルでのガバナンスやコンプライアンスの必要性が高まるにつれ、ソフトウェア開発ツールには基本機能に加えて、コンプライアンス標準を誰もが閲覧できる仕組みが求められています。

Rational Software Analyzer Enterprise Edition は、すぐに使えるレポートやメトリクスを生成できる優れたレポート機能を提供し、プロジェクトの見える化を促進できます。

HTMLやPDF形式でレポートを生成、またはお客様の組織が求める書式でカスタム・データを出力することもできます。

Enterprise Edition では誰もが閲覧可能なレポート・ビューを生成できます。Developer Edition では、個々の開発



Java コード・レビューの重大度の要約レポート画面

者のレポートを生成できます。

Rational Software Analyzer Enterprise Edition の自動コード・レビュー機能は、人や場所の影響を受けず、ユーザーが主要なIT標準、エンジニアリング標準、そしてデザイン標準に忠実に遵守できるよう支援します。

さらに、ルール構成をカスタマイズすることにより、プログラミング・ガイドラインがお客様の会社としてのガバナンス要件に合致しているかを検証することが可能です。

また、Rational Software Analyzer Enterprise Edition では、監査に備えて解析結果をダイレクトに Rational Build Forge のログ・ファイルに出力することも可能です。

## 学習時間が短く、すぐに使い始めることが可能

開発プロセスを支援するどんなテクノロジーであっても、使わなければその価値を發揮できません。Rational Software Analyzer は、学習時間が短く、すぐに使い始めることができるよう設計されています。



お問い合わせは、IBMビジネスパートナー、製品販売店、弊社営業担当員または、ダイヤルIBM (0120-04-1992)へ。受付時間：月～金9:00～18:00(祝日12/30～1/3を除く) 携帯電話でおかけのお客様は下記の電話番号でご利用ください。ダイヤルIBM 03-6220-8002(この場合通話料金はお客様のご負担となります。)

Copyright IBM Japan, Ltd. 2008  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12  
Produced in Japan  
May 2008  
All Rights Reserved

このカタログの情報は2008年5月現在のものです。内容は事前の予告なしに変更する場合があります。表示画面および印刷帳票の出力例のうち、特に断わり書きのない出力例のデータ部分は全て架空のものです。画面ははめ込み合成で実際の表示とは異なります。製品、サービス等詳細については、弊社もしくはIBMビジネスパートナーの営業担当員にご相談ください。

IBM、IBM ロゴ、Rational、Build Forge は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標です。他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。